



高速ブロードバンド・コンテンツ

事務局 増田則雄

政府が掲げたITの旗、「IT講習」が順調に行ったということは、国民への「IT」に対するプレゼンテーションは成功した訳です。

偶然か否か、タイミングよくネットワーク通信回線の高速化への環境整備も同時期に各社が競いはじめ、今年度末には皆さんが、高速ネットワーク通信の環境になられると思いますが、そこで、どんどん登場してくる新しい企業群がブロードバンド・コンテンツを提供する企業です。

私達が一番身近で利用出来ると思われ、当会、事務局講習会でも実験をしています「ブロードバンドコミュニケーション」。つまり「ネットワークテレビ会議」システムです。このシステムの最大の特徴はリアルタイムな「音声」「映像＝動画」を相互にコミュニケーションできることにあります。もう一つの部分、企業サイドで創造の素とされている部分は個人の場合と同じ「映像」「音声」がターゲットなのです。

企業では2ページ「高速ブロードバンド試験サービス」にあるようなサービスや、一般の家庭では、スーパーがその日に特売商品や、お買い得商品を、ホームページ上に置かれた販促映像で、店主が掛け声勇ましく語りかける映像が、毎日配信され、チラシで見るより詳しく、情報を知ることが出来る。生の声が聞けて親密感も味わえる。お支払いは、ネットバンクで、配達もスーパーが各家庭に宅配してくれるシステムになる。このようにスーパーは、店で店員が商品を売るのはではなく、店員や店舗の経費が要らないネット上の仮想店舗で営業が出来。ネット上で買った品物を、その日に配達してくれる、至れり尽せりになる日が近いかも。しかし、専業主婦はどのようにして暇を持て余すかが心配です。余暇はネットサーフィンなのでしょうかね。いや、ネットサーフィンもかなりの体力が必要なのです、

3月例会のお知らせ

3月2日(土) PM.6:00～9:30
大山崎ふるさとセンター

事務局 講習会予定

毎週火曜日 8:00より

週間 事務局講習会

毎週火曜日午後8:00より

- Windows 2000 Server 講習 (中辻)
- ハードウェアのゴミ研究へ (山口)
- ブロードバンドネットワークコミュニケーション (増田則)
- Screenshot/Java 講習 (増田則)
- IT 関連情報 (若井)
- ハードウェアのメンテナンス (中辻)
- VisualBasic/VBA/ActiveX (増田則)
- HP 作成 / 動画処理 講習 (若林)
- PC アプリケーション講習 (中村)

上記講習その他色々。各自課題を提案して下さい。
問題の解決はアドバイスや技術の伝授を受け自主解決を原則としています。

今月の目

- 京の歳時記 1
- Linux 仮想体験について 2
- 今話題の、ニューOS 『リンドウズ』今年に登場?
- MyPC (岩井宏安) 3
- 「高速ブロードバンド試験サービス」 4
- パーソナルコンピュータユーザ利用技術者認定試験会場について
- NEC Smart Voice 4 XP
- ブロードバンドコミュニケーション 5
- ブロードバンドクイックタイムショー 6
- 「Adobe Premiere」について 7
- 新春合宿報告 8

事務局講習会より

ブロードバンドネットワーク会議(毎週火曜日)に参加される会員さんを登録しています。事務局までE-Mailにて事務局まで連絡ください。

(aaado007@kcat.zaq.ne.jp まで)

京の歳時記

みやこどり

その昔万葉歌にも歌われた みやこどり、ゆりかもめ
いま 21世紀の鴨川に舞うはうれしい姿

船競ふ堀江の川の水渚に、来居つつ鳴くはみやこ鳥かも

万葉集 20巻 4462

大伴の家持 江の濱でつくりし歌

かみが



Linux 仮想体験について

事務局 増田

去る、月例会で会長（圓口）さんから合宿でもご紹介いただきました「Live Linux2」についてお話があり、この「Live Linux2」は既存のハードディスクをLinux化しなくても仮想領域でLinuxを体験できるという優れたものです、皆さんもご経験ある方もおられると思いますが、ハードディスクをLinuxにしてしまっただけで後にwindows化するには労力が重なり大変な経験をされた方が多いと思います。そのような事を解消する為に発売された物が、「Live Linux2」なのです。

体験を終わってみれば、「Live Linux2」は自動的に抹消され、ハードディスクの内容は以前のままの状態にしてくれるのです。

今回、会長（圓口）さんは各自に、これを導入していただき、「Live Linux2」体験をして下さいという提案です。

皆さんが、「Live Linux2」を実際に体験していただいた自分のマシンの環境や、「Live Linux2」を稼動してどのように感じたか、また、その過程に発生した色々なリアルな情報を報告していただくことになりました。

次回、例会で皆さんの体験報告をレポートしていただきたいと存じます。

必ず、マシンのハード情報 CPU クロック、メモリー、OS、インストールソフトウェア、特記すべきことなどを記載の上、「Live Linux2」の体験レポートをお願いいたします。

「Live Linux2」の体験は、UNIX コマンドを覚えることから始まります。

情報や習うより先にご自分で馴れる事から「Live Linux2」は提唱しているのです。

何もの無い砂漠で自分に合った環境を作ろうとするのですから、それ相応の心構えも必要になるかも知れません。

巷ではやりのウイルス対策の一環にも役立つかも知れません。まずは、何時も自分への挑戦から始まるのです。みなさん、頑張ってください。良いレポートを期待しています。



今話題の、ニューOS『リンドウズ』今年に登場？

以前より、パソコンマニアの中で、注目されながらもユーザの意のままにならなかったUNIX系のOSリナックス。皆さんも、随分無用な時間をこのOSに費やされたことと存じます。

しかし、以前より噂されていた、リナックスをウインドウもどきにしてしまった新OSが遂に、今年中に発売予定とか。

マイクロソフト手法の上前を行くOSなのである。その名も「LINDOWS（リンドウズ）」と、マイクロソフトのOS「ウインドウズ」を手玉にするようなすばらしい銘々を付けたと言うところにも、今まで、競合ソフトの擬似アプリケーションを作り、OSに寄生させたりマネーバッシングにて、次々に手玉に取って、膨大な資金と時間を賭けた、マイクロソフトの集大成を頂こうと言う発想、「人間は無限の発想を有する」すばらしいとしか言えません。

この、新しい発想のOSにはマイクロソフトも危機感を感じている。既に「紛らわしい商品名」と言うことで商標侵害訴訟を起こしています。

「LINDOWS」を開発したのは、米国のLINDOWS.COMで、MP3.COMの元代表「マイクロベルトン氏が設立した。

リンドウズは、基本的にはリナックスでリアルタイムでウインドウズ対応のプログラムにフィルターをかけ利用出来るようにするものである。

その、リンドウズのデスクトップ画面はwindowsの画面と擬似して、ウインドウズのアイコンやフォルダーなど同じ物が表示されているので、リナックスであることを意識せずに利用出来る。

マイクロソフトを狙い撃ちした、インターネット上のウイルス侵入防止対策になるかも知れない。

リンドウズのOSのアプリケーションは同社のネット上に無償で提供されて、ソフトウェアは、ダウンロードして、ダブルクリックするだけでインストール出来るようになっており、煩雑なリナックスの操作をしなくても利用出来るようになっているということです。

マイクロソフトが意義を唱えて、マイクロソフトを手玉にする名称「リンドウズ」果たして今後はいかに、皆さんが楽しめる場所です。

新しいマイクロソフトのOS「Windows XP」は1ユーザ最大2台までと言う制限付きのOSであるが、最近では、個人でパソコンの保有台数はパソコンを利用する人で最低2台の保有は当たり前の時代に、これは無いでしょうと言う皆さんのお言葉ではないでしょうか、規制があればあるほど不の反動も大きいのでは。色々な制約がある「Windows XP」を買いたくない方も多く存在しているでしょう。そうした方々の反骨精神、偏屈精神の持ち主にはピッタリのOSではないでしょうか。

CD-R/RW / DCD-ROM を極めて下さい

最後の URL をたどれば詳しく解説されていますので暇なとき開いてください。

バッファ・アンダーラン (buffer underrun)

処理速度が遅い (古い) PC や、あるいはマルチタスクの影響 (たとえばスクリーンセーバーの動作) で PC の処理速度が低下した場合、CD-R や CD-RW では、buffer underrun というエラーが起きて書き込みが失敗することがある。

もともと CD-R/RW では、PC から送られたデータはいったんドライブ内の専用バッファメモリに蓄積され、そこから徐々にドライブ側に書き込まれるしくみになっている。

ところが PC 側からのデータ転送が遅れると、「バッファ内のデータは書き込み終了しているのに、PC からの続きのデータの受信が間に合わず、バッファが空のまま書き込み動作が行われてしまう」ということになる。これが buffer underrun (バッファ・アンダーラン) である。

このエラーが起きてしまうと、メディアはおシャカ=捨てるしかないという悲惨なことになる。処理が遅い PC のみならず、16 倍速、20 倍速、24 倍速……と、CD-R/RW への書き込み速度を高速化すればするほど、どの PC でもこのエラーの発生頻度は高くなっていく理屈。

そこでこの問題を解決するための技術として、現在では多くのメーカーが「バッファが空になると書き込みを自動停止する」ようなしくみを開発し、CD-R/RW ドライブに組み込むようになってきている。

Burn-Proof (バーンプルーフ)……三洋電機

Just-Link (ジャストリンク)……リコー

SafeBurn (セーフバーン)……ヤマハ

Power-Burn (パワーバーン)……ソニー

(SafeBurn, Power-Burn は、書き込み速度自動調整機能を含んだ名称)

などなど。名前や細かい機能は開発元によってまちまちだが、ユーザー側としてはとりあえず「このテの機能つきのほうが安定度が高い」と捉えておけばよいだろう。

RICOH の HP に詳しい解説があります。

<http://www.ricoh.co.jp/cd-r/drive/justlink.html>

[実験] CD-R の信頼性を大幅に高めるテクノロジー「Just Link」を検証する <http://www.atmarkit.co.jp/fpc/experiments/003justlink/index.html>

1. Just Link はどのようにして書き込みエラーを回避するのか
2. バッファ・アンダーランはもはや過去のものに
3. Just Link 搭載の MP9120A とはどのような CD-R/RW ドライブなのか

私の使用しているエプソンの Pro720L はコンボドライブと呼ばれる CD-RW と DVD-ROM が一体になったものを搭載しています。(エプソンの HP から 1 月の中旬姿を消し製造中止となりました。メーカーマシンは長くて 1 年で新バージョンになります。)

あるとき、突然 CD-ROM が高速回転を始めるようになり CD-ROM のファイル名が一瞬表示され読めなくなり、装着・着脱ボタンを押さなければ停止しないようになりました。

普段あまり CD-ROM を使用することがなかったので、いつからこのようになったのか分かりません。

Web カメラの EC-400 は CD-ROM を使用して Install しましたのでこれ以降だとは推測できますがどのプログラムを Install したときか特定できあせんでした。一つ一つアンインストールしては再起動し追及しました。

判明しました、Windows Media Audio 8 をサポートした Windows Media Player 7.1 を ADSL 回線からアップバージョンしたのが暴走の原因でした。コンボドライブのドライバーは MS の DRIVER ですとエプソンが言っており、まさかトラブルを引き起こさないと考えていたので腹がたち煮え返る思いです。すべてがそうだと思えませんが Windows Media Player 7.1 を Install したときはチェックしてください。疑っていた Netscape が原因でなかったので再トライしようと思っています。

Linux での Web ブラウザは Netscape が本命です。VIRUS に対して少しでも安全度の高い Linux を……………。

Windows のメーラは Outlook より Becky! を VIRUS 対策としておすすめします。

NEC Smart Voice 4 XP

会長 圓 口
合宿の中でのソフトの紹介で、取上げられた一品です。

皆さんが、まだ体験されていないので、下記に機能を簡単に紹介させていただきます。今後体験レポートを皆さんからお寄せ頂きたいと存じます。

(1) 機能

- ① 文章を声で入力
- ② 文字を読み上げる
- ③ 読み上げた音声をMP3で保存
- ④ 声でメール
- ⑤ Outlookの「今日の予定・仕事」を声で知らせる
- ⑥ PowerPointで自動的にプレゼンテーション

現在の問題点を一部お知らせします。新しいOS「WINDOWS XP」で試しましたが、ソフトが対応していない事が判明。自分の音声を正しく認識させるには、相応の根気と時間が必要であること。

上手に認識してくればなかなかのものであるらしいのです。



「高速ブロードバンド試験サービス」

2002年1月23日

関西電力株式会社
関西マルチメディアサービス株式会社
株式会社京阪ケーブルテレビジョン

平素はK-CAT・ZAQのご利用ありがとうございます。

このたびは関西電力株式会社および関西マルチメディアサービス株式会社、株式会社京阪ケーブルテレビジョンは、高速ブロードバンドインターネット接続を活かした大容量コンテンツ配信実験を期間限定で実施いたします。

この実験で提供する「高速ブロードバンド試験サービス」では、映画やプロモーションビデオ、各種番組やゲーム等を、インターネット回線を通じて楽しむことができます。クレジットカード決済による有料コンテンツ（ほとんどが数百円の利用料金です/視聴可能期限付き）決められた放送時間にしばらく見られず、好きな時間に好きなだけ（視聴可能期限内なら何回でも）ご利用できます。

今回のコンテンツ配信実験は、配信設備の性能を調査するとともに、サービス内容や品質に対するお客さまニーズの検証を通じてコンテンツビジネスのリーサーチを行うことを目的としています。今回の実験結果を活かして将来の本格サービスの実施をめざしてまいりますので、多くの方のご参加をお待ちしております。

※このメールはモニター参加を強制するものではありません。

※パソコンの機種がMacintoshでご利用の場合、しばらくの間有料コンテンツをご利用いただくことができません。何卒ご了承ください。

試験サービス期間：2月上旬～3月31日（日）

配信内容（予定）：映画、音楽、アニメ、アイドル、スポーツ、ゲーム、教育、演劇、その他のカテゴリーをご用意し、ストリーミング形式（その場で再生）やダウンロード形式（一度パソコン内にデータを保存し、パソコン上で再生）でコンテンツをご提供します。

※配信コンテンツは、試験期間中に順次増やしていく予定です。

※一部のコンテンツについては、別途料金が必要です。

※お持ちのPCやOSにより、ご利用できないコンテンツがございます。動作環境等をご確認の上、ご利用ください。

モニター募集期間：1月23日（水）～2月4日（月）

モニター参加費用：無料

※ただし、有料コンテンツをご利用いただいた場合の料金は、モニター様負担となります。

パーソナルコンピュータユーザ利用技術者認定試験会場について

副会長 加藤 純一

本年の認定試験会場（京都）下記のごとく決まりましたので、ご連絡いたします。

* 7月14日（日）京大会館 2F 210号室、217号室

試験会場 1室（3/4級）と 事務局用 1室

* 12月1日（日）京大会館 2F 210号室、211号室、217号室

試験会場 2室（3/4級と2級）と 事務局用です。

ブロードバンド・コミュニケーション

第4編

事務局 増田則雄

ブロードバンドコミュニケーションは、利用する内容でソフトを選ぶことが最良の選択肢だと言うことが解かりました。

双方の通信接続状況やグループであるのか、映像に重点を置くのかなどで決めるべきだと思います。一定のルールを決めミーティングを始めましょう。

今回は、こうした中でのトラブルや、環境作りについて実際に試験をした結果を報告いたします。詳しくは、事務局講習会へお問合せください。

調査対象

アプリケーション

「NetMeeting」

「Cu-seeMe」

「Ivisit」

通信回線状況

接続通信回線

通常電話回線 (56K モデム)

ISDN デジタル電話回線

ADSL 高速電話回線 (8M)

光ケーブル回線 (100/10M)

普通電話回線

ネットミーティングのみが、何とか映像が見られ、回線が混雑してくれば不可能になります。

ISDN 回線

「Cu-seeMe」が何とかできる状態。

「Ivisit」では映像は写らない。

音声は聞き取れない

ADSL 回線

全てのソフトで可能。

光 回線

全てのソフトで可能。

各ソフトの使用感

「Cu-seeMe」

近日、サイトの更新され、以前とはまったく違ったレイアウトになっていて、以前は8名までの入室が可能であったのが、今回は、5名までの入室が可能と変更されていた。その為か、随分と音声、映像がスムーズになったように感じられました。

しかし、このサイトは、あくまでもお試しの領域を脱しない為、自由に誰でもが入室出来、提供されている部屋が2つしかないの、実用には向かない(料金を出せばあるのですが、個人では、手が届きません)ですね。

「NetMeeting」

windows に付属している機能なのですが、専用のルームが作成できないので、他のサーバや専用サービスをしているサーバに依存しなければならぬ、サーバが混んでい

たり、無礼な人種の巣窟になっていたり、グループでミーティングをするような場所が提供されていません。(以前はマイクロソフトがルームを提供していたのですが、参加者のモラルが余りにも低いので、ルームを閉めた経過があります。)

しかし、「NetMeeting」は通信負荷がかからない為か、1対1でコミュニケーションを図るには音声、映像共に十分に満足できるものです。

「NetMeeting」に、ルームを提供しているサーバが次に紹介する「Ivisit」のような機能を備えていれば最高なのですが、上手くいかないものです。

「Ivisit」

ここは、プライベートルームが自由に作成でき鍵も掛けられるので最適なのですが、ルームが自由に作れる為にサーバへの負担が大きい為か、映像はリアルではなく、コマ送りのようなワンタイム置いた画像が送信されます。音声も、スムーズとは言えないもので、遅い通信回線では、聞き取りが難しくなる。欠点があります。

しかし、グループでミーティングをするには他人が入らないように「ID」を決めてミーティングが落ち着いて出来る事はいいのですが。

いずれにしても、それぞれのソフトに一長一短と言った部分が存在していることで、今後この種の改良されたソフトが開発されるでしょう。

事務局講習会では、最良の環境を求めて今後も、研究していきたいと思っていますので、遠方でも皆さんとその時の環境にもよりますが、コミュニケーションを図れる事が出来ますので、ご連絡下されば対応出来ると思います。

事務局では、会員さんが毎回、数名出席して居られますので上手くいけば、ミーティングが出来る状態です。

皆さんのコミュニケーション情報を事務局までお寄せください。

ブロードバンド・クイックタイムショー

紙面の中でも触れていますが、高速通信網の恩恵を皆さんが受けられる状態になれば、必ずなるであろうと思われる状況の一つ、映像と音声の配信。

現在は、一部 Web 上に置かれている映像配信は、リンクコマンドをクリックすればサイトからダウンロードして見るのが主体ですが、それを見るアプリケーションをまず起動させる為、ワнтаイム置かなければならないのが現状ですが、Java 言語でサーバ上の動画を同時配信するなどの工夫がなされても来ています。確実にやって来る、Web 上で稼動する動画の時代、今から下準備をしていなければなりません。

まず、動画を操るテクニックを身に付けなければなりませんのですが、この分野では、一步前に居られる「若林」氏にご指導を願わなければならないところです。

事務局では、動画処理のアイテムとして「Adobe Premiere」、「3D スタジオ」その他実務で商業的に利用されている専門的なアプリケーションを導入し、ビデオ編集作成のソフトウェア環境を整えました。

ハードの面も順次環境を整えていきたいと思います。

今後、事務局講習会の課題として、キャッチフレーズを「ブロードバンド・クイックタイムショー」と銘々し講習を進めていきたいと思います。

今後、利用するアプリケーションについて Adobe サイトより抽出して編集機能を各シーンがキャプチャーされたものを掲載させていただきます。

Adobe Premiere について Adobe サイトより

AdobeR PremiereR 6.0 は驚くほどシンプルで、しかもパワフルなプロフェッショナルデジタルビデオ編集ツールです。Adobe Premiere 6.0 には DV デバイスコントロールと Web ストリーミングフォーマットの出力機能が内蔵されたため、一つのアプリケーションの中で、DV をキャプチャ・編集して、Web にストリーミングを配信する、そんなワークフローが実現しました。新バージョンとなり大きく飛躍したこの Adobe Premiere 6.0 は、奥の深さと使いやすさ、そしてパワーを兼ね備えた、総合的なプロフェッショナル向けビデオ編集ツールです。

Premiere の「オリジナルを編集」コマンドを使用して Photoshop ファイルを編集 page : 1 2 3

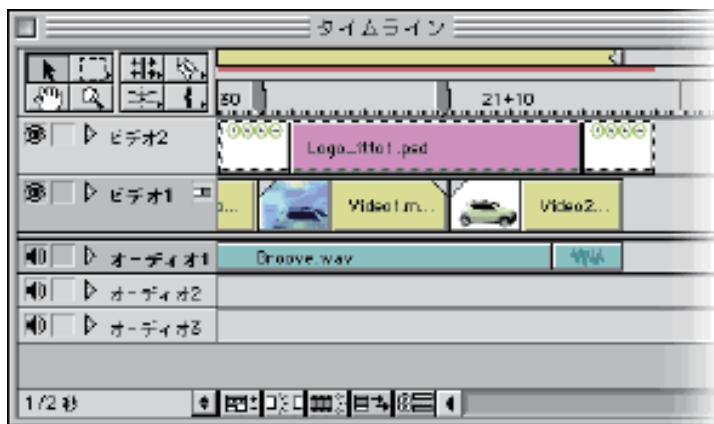
他の AdobeR アプリケーションで作成したファイルを Adobe PremiereR で使用することがとても簡単になりました。PhotoshopR、IllustratorR、または After EffectsR で作成した画像を読み込んで、「オリジナルを編集」コマンドを使用すると、すぐに画像を開いて編集を開始できます。ここでは、読み込んだ画像を編集し、Premiere のプロジェクト内でその画像を自動的に更新する方法について説明します。

Photoshop ファイルを Premiere に読み込む

Adobe Premiere でプロジェクトを開始するか開き、「ファイル>読み込み>ファイル」を選択して、Photoshop (.psd) ファイルを読み込みます。ファイルは、レイヤーが結合されたファイルとして読み込むことができます。また、ファイルの1つのレイヤーを読み込むことができます。

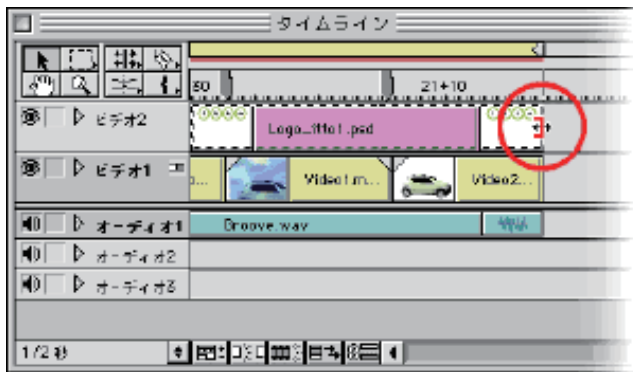


読み込んだ Photoshop クリップをタイムラインに追加
プロジェクトウィンドウから Photoshop クリップをタイムラインウィンドウのスーパーインポーズトラックにドラッグします。クリップは、クリップのシーケンス内で表示したい場所に配置してください。



クリップのデュレーションを調整

デュレーションを長くしたり、短くしたりするには、クリップの一方の端にカーソルを移動し、ドラッグします。または、クリップをダブルクリックすると表示されるウィンドウの「デュレーション」ボタンをクリックし、特定のデュレーションを入力することもできます。



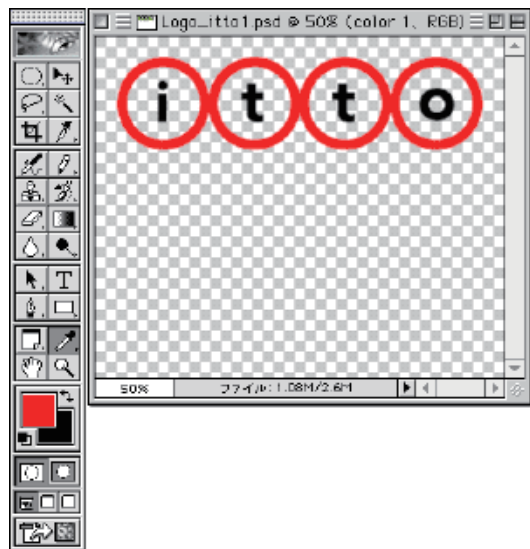
モニタウィンドウでクリップをプレビュー
Enter キーを押してプロジェクトのプレビューを作成し、プロジェクト内の他のクリップ上にスーパーインポーズされたPhotoshop クリップを表示します。



モニタウィンドウでクリップをプレビュー
タイムラインウィンドウで、Photoshop クリップの上にある黄色のワークエリアバーの位置を指定します。Enter キーを押して、この時点でのプロジェクトのプレビューを作成します。または、Alt キー (Windows) か Option キー (Mac OS) を押したまま、タイムラインウィンドウの時間ルーラーでカーソルを前後にドラッグします。タイムラインでそのクリップの下にある他のすべてのクリップが隠れます。これを解消するには、透明度のキーを適用します。

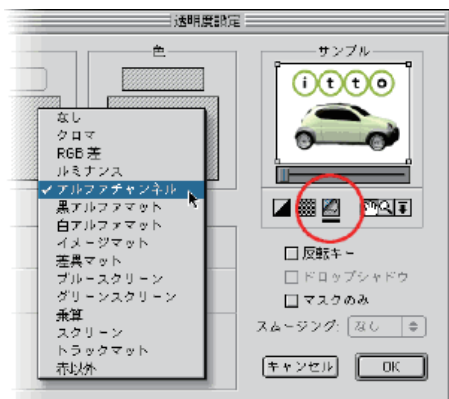


Photoshop ファイルを調整
タイムラインで Photoshop クリップを選択し、「編集>オリジナルを編集」を選択します。Adobe Photoshop が起動したら、必要に応じてファイルを編集します。ファイルのあらゆる要素を変更できます。ここでは、「itto」ロゴの周りにある円の色を変更します。



透明度を適用
タイムラインでクリップを選択し、「クリップ>ビデオオプション>透明度」を選択します。キーの種類メニューから「アルファチャンネル」を選択します。クリップにアルファチャンネルが含まれていない場合は、「クロマ」キーを使用します。表示されるスポイトツールで背景色を選択します。

透明度の結果を確認するには、プレビューサムネールのページピールアイコンをクリックします。「OK」をクリックしてダイアログボックスを閉じます。



ほんの少しですが、Web サイトより掲載させていただきました。(Adobe Web サイトに登録済み)
まだまだ紹介させていただく機能がありますが、それらは事務局講習会で実習させていただきたいと思っています。

始めは、若林氏が作成された今までのビデオ素材を元に短編にして編集していきたいと思っています。

どのように、他人に見せられる動画に出来るか、全体のストーリーと映像の構図、限られた時間内での編集作業とチェックポイントは実際に作成しなければ理解し得るものではありません。

皆さんの期待に応えられるような映像を、何時実現できるようになるか楽しみにしています。

2002 春の合宿 報告

事務局 増田 則 雄

至 2002 年春の合宿は、昨年度のような雪にも見舞われず、良い気候で無事終了しました。今回の合宿での課題は、「ブロードバンド時代のコミュニケーション」を模索する為に、皆さんの環境を「ローカルエリアネットワーク」LAN 環境下で、理解していただくよう会場に設定させていただきました。

月日：2002 年 1 月 19 (土) ～ 20 日 (日)
場所：滋賀県志賀町蓬莱 (株) 関西テレビ放送「蓬莱山の家」
参加者：13 名



19 日

11:00
12:00
13:00

出発

昼食 (石山：鶴きそば)

会場準備 (休憩)

全員のパソコンを LAN の環境にする為、中増田則、圓口各氏が全員のパソコンを調整

14:00
14:20

会長 挨拶

研修会① WINDOWS XP 報告

新しい MS の OS、「WINDOWS XP」を「ネットミーティング」のファイル共有設定により「WINDOWS XP」搭載パソコンより皆さんのパソコンに「WINDOWS XP」の体験をしていただきました。

14:40

研修会② ブロードバンドネットワークコミュニケーション (講師 神賀重善)

神賀氏が、今までの経験を交えて現在の状況と、今後の通信環境を交えたお話をして頂きました。

18:30

休憩 (入浴)

19:00

夕食 (新年宴会)

20:30

研修会③ ブロードバンドネットワークコミュニケーション

ネットワークコミュニケーションの実際を皆さんに体験していただき、ネットワーク上での利用、リモートコントロール機能、アプリケーションの複数 PC での共有の実際な高度な利用価値を皆さん自由に操作して学んでいただきました。

この中で、圓口氏推奨の音声認識ソフトの検証、Linux などの話題も出て、皆さんが就寝されたのは、午前 2:00 過ぎでした。

21 日

8:00

朝食

9:00

研修会④ 会報の PDF 化について (編集部長 増田則雄)

会報の保存と HP 上に掲示する方法について、編集部では長年に至り模索してきましたが、皆さんの共有と再利用、保存、Web 上へという指向に伝えるのには、やはり「PDF」化が現在のところ最良と考え「PDF」化を図ることにいたしました。しかし、今までの会報誌を、皆さんにお渡しすることには変わりありません。

9:30

研修会⑤ 当会ホームページ運用について (インターネット部長 若井征夫、若林實)

会報の「PDF」化により当会の活動が、サイトを訪問された方に、より身近に感じられる事を期待して時期を見計らい掲示することになりました。会の活性化と流動感が感じられます。

10:00

研修会⑥

言いたい放題 こんな話、こんな動作、こんな機能など、ハード、OS、情報交換

11:00

後かたづけ

12:00

現地解散

合宿の終わりに

ここ数年、合宿参加者比率が上昇している事は大変喜ばしいことですが、反面では、現場を解き放たれた方が増えてきたとも言えます。若い世代の新入会者、これからの時代を担う人達の息遣いをも感じていきたいところです。新鮮で奇抜なアイデアがどんどん波生してくる時代。いや、今、目の前まで押寄せて来ていると言うべきだと思います。それを、如何に利活用するべきか課題は大きくなるばかりです。今後の合宿でも、このような課題をテーマに開催していくべきだと感じています。